

## 三本槍岳山行報告

【山行日】2021年 8月 29(日) 晴れ後曇り  
【集 合】栃木市運動公園P AM 6:00  
【費 用】マイカー2台 : 2,600円  
【メンバー】CL:鈴木、SL大西、青柳、飯口、  
植竹、島田、関、廣瀬、福島

【コースタイム】栃木市運動公園P6:00＝峠の茶屋P7:10/7:30～峰の茶屋 8:30～朝日の肩  
9:00/9:10～北温泉分岐 9:50/10:00～三本槍岳  
10:30/10:45～清水平 11:20/12:00～朝日岳  
12:50/13:00～峰の茶屋 13:30/13:40～

峠の茶屋P14:20/14:30＝道の駅「友愛の森」15:00＝栃木市運動公園P16:10



8月20日から栃木県に緊急事態宣言が発令され、県外への会山行や宿泊山行は自粛することになった。この土日は御嶽山の宿泊山行が計画されていたが中止になり、代替山行として三本槍岳山行を計画した。栃木市運動公園を6時に出発し、東北道を北上し那須ICで降りる。途中、道の駅「友愛の森」でトイレ休憩し、峠の茶屋駐車場に着くとすでに満車になっていた。すぐ下の駐車場が空いているのを確認していたので、一方通行の道を進み下の駐車場に車を止める。

出発の準備を整えたら峠の茶屋駐車場まで移動し、トイレの前でストレッチを行ってから出発する。トイレの先の石段を登った所でカメラを忘れたことに気が付き、ザックを置いて下の駐車場までカメラを取りに行く。皆さんは先に登って行ったが、関さんがザックを見てくれて2人で追いかけて行く。

登山指導所のT字路を右に進み、鳥居をくぐって木橋を渡ると登りがややきつくなる。樹林帯の急坂を登ると視界が開け、前方に先行した皆さんが見えるようになる。中の茶屋跡で休憩を取った所で追いつき、一緒に休憩して衣服調整を行う。ここからは右手に朝日岳の荒々しい岩峰を見ながら登り、アルペンムードに溢れた雄大な景色を見ながら歩ける。今回は今年入会した2人が参加し、初めて見る山岳風景に感動していた。エゾリンドウの花に季節の移ろいを感じながら、ゆるやかに高度を上げ鞍部の峰の茶屋に着く。ここは茶臼岳方面と、三斗小屋方面、朝日岳方面への分岐となっており、大勢の登山者が休憩を取っている。我々も休憩し果物や菓子を食べ、エネルギーと水分を補給する。朝日岳へは右に進み、剣ヶ峰の岩稜を東側を巻くように登って行く。



途中、恵比寿岩や大黒岩といった奇岩を見ながら、露岩の尾根を登り、クサリのある岩場を慎重にトラバースする。さらに急なザレ場を登り切ると、朝日岳の肩に着き休憩する。いつもの山道とは



違う荒々しい岩稜帯の登りに、皆さん楽しく登れたようで笑顔で菓子を食べていた。

ここからは熊見曾根分岐から1900mピークと、展望が良い尾根を歩きハイマツやシャクナゲの尾根を下ると清水平に出る。木道を歩いて湿原を渡ると休憩所があるが、先行パーティが休憩中なので通過する。ハイマツの道を5分程登ると北温泉分岐で、ここで小休止し水弁を補給する。スダレ山の西斜面を巻くように進み、深くえぐれた登山道を緩やかに下る。平坦な道に出て展望が開け、

これから登る三本槍岳や旭岳が見渡せる。

いよいよ三本槍岳への急登が始まり、ハイマツの登山道を15分程登ると三本槍岳山頂に飛び出る。山頂には一等三角点が置かれ360度の大展望が得られるが、今日はガスが掛かって来て遠望は効かない。それでも時折ガスが晴れると周りの山々が見渡せ、ここまで頑張って登ったご褒美はいただけた。プリンや菓子などをいただきながら展望を楽しみ、記念写真を撮ったら下山する。下山は往路を戻り、清水平の休憩所で昼食をいただく。



お湯を沸かしてカップ麺やスープを作り、出汁巻き卵やピーモソ、漬物等とパンやおにぎりをいただいた。

お腹が満たされたら往路を戻り、途中の朝日岳の肩から朝日岳山頂に登る。

登りながら見上げた荒々しい山頂に登り、初めての人たちはとても満足していた。

あいにくガスが掛かっているため展望は無かったが、今朝仰ぎ見た山頂に立つ喜びは大きかったようである。意気揚々と峰の茶屋まで下り、小休止したら一気に峠の茶屋まで下っていく。いつものようにトイレに行きたい人は先行し、無事峠の茶屋に到着する。

駐車場は半分以上空いていて、下の駐車場



から車を移動する。丁度ゆっくり組が降りて来て、靴を履き替えトイレを済ませたら帰路につく。

途中、道の駅「友愛の森」でトイレ休憩と買い物し予定より早く栃木市運動公園に帰着した。